

人生をSHIFTする旅にでかけよう

# 環境系学生 未来塾



自然は好きだけど、  
生きていけるの？

自然と関わる仕事  
っていったいどんなのがあるんだろう…？

好きなこと・やりたいこと  
を仕事に生かすには？

“地域で生きる”“自然と暮らす”  
ことなんて本当にできるの…？

## contents

- |    |                |         |
|----|----------------|---------|
| 01 | 拝啓 もやもや学生の君へ   | P.01    |
| 02 | 未来塾とは？         | P.02    |
|    | Ground Rule    | P.03    |
|    | 対話             | P.04-05 |
|    | 人を巡り想いに触れるツアー  | P.06-07 |
|    | 自然体験           | P.08-09 |
|    | 焚人と地域パートナー     | P.10-11 |
| 03 | あなたにとって未来塾とは？  | P.12-13 |
| 04 | 過去参加者の語り       | P.14-17 |
| 05 | 地域で働く大人にインタビュー | P.18-19 |
| 06 | 実際に開催された未来塾の様子 | P.20-21 |
| 07 | 未来塾のあゆみ        | P.22-23 |
| 08 | 未来塾の意図・意味とは    | P.24-25 |

拝啓  
もやもや学生の君へ

そもそも環境に関わる仕事にはどんなものがある？  
実際に働いている人たちはどんなことを思っている？  
楽しみを失わずに生活できる？  
環境を学ぶにはどの仕事が一番いいの？  
最低限生活できるだけのお金はもらえるの？  
自分の将来どうしたいの？  
そもそも環境ってなんだ...？

もうどこにもやもや(つかつか)ない！

そのもやもやを抱えている君、  
人生を変えよう旅に出かけてみようか...!?

人生は見つけようではなくつくろおう。  
未来塾の空間で、自分の人生をデザインしよう！

敬具



環境系学生

# 未来塾とは？

自然環境や地域活性、第一次産業など、環境系の分野に少しでも興味のある大学生に向けた、

これからの人生をデザインするワークショップ型合宿。

自然の中で自分と向き合い、地域で生きるさまざまな人の想いを聴きながら、

仲間との対話を通してこれからの生き方を考えます。



#0

Ground Rule

#1

対話

#2

人を巡り想いに触れるツアー

#3

自然体験

#4

焚人と地域パートナー

# Ground Rule #0

ひとりひとりが安心して

自分と向き合えることを願って、

はじめましての人でも未来塾に

気楽にかかわりあえる

穏やかな雰囲気を大切にしています。



様々な人と交流する



人の話をじっくり聞く



感じたことを言葉にする



もやもや、嘆きを大切にする



楽しみながら学ぶ



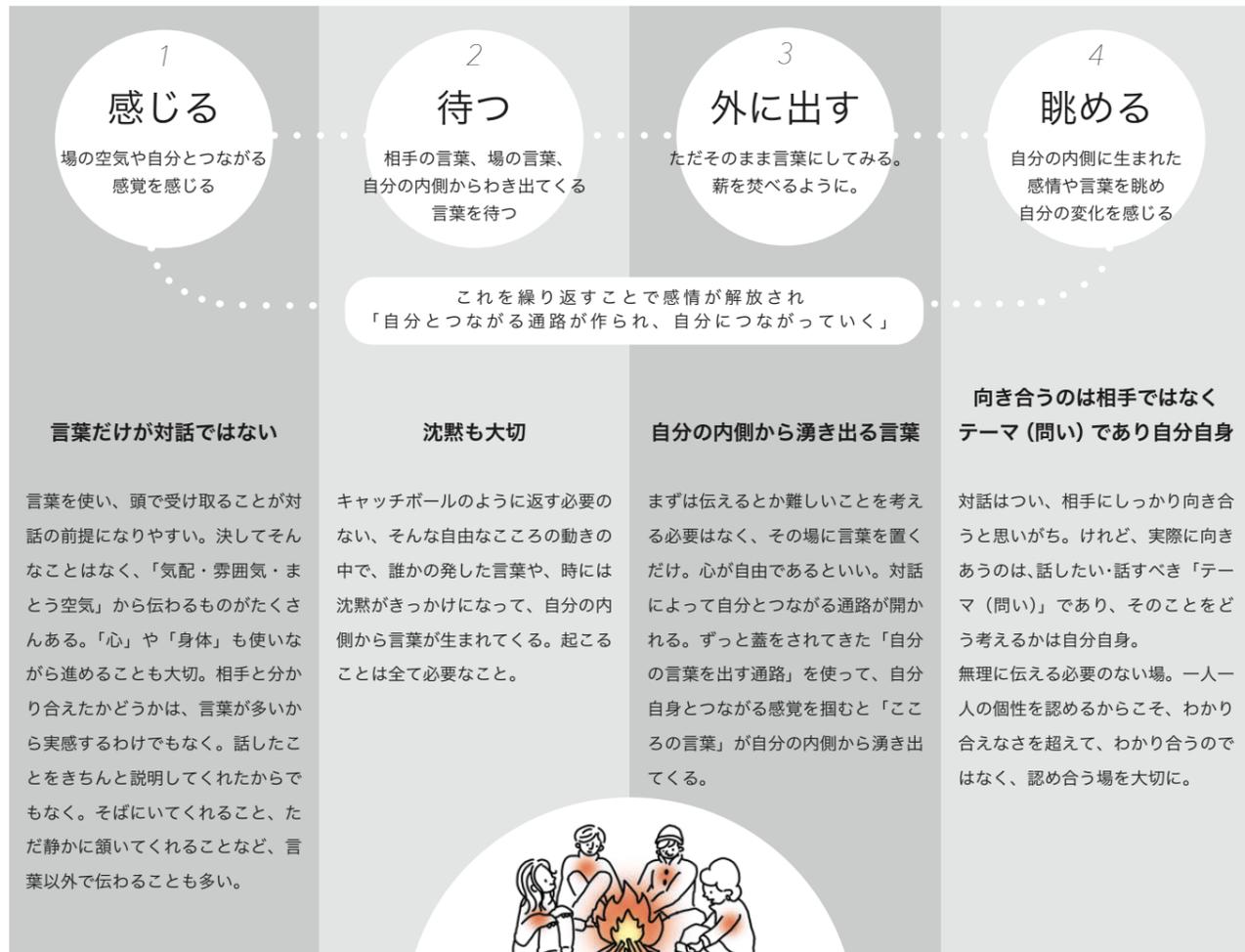
やってもやらなくてもいい

# 対話 #1

自分の中にあるものをそのままに受け止めること、  
伝えてみることで、相手の反応を受け取ってみること。  
そんな体験を通して見えてくる  
今まで気づかなかった自分に出会う時間。



## 対話の流れ



Let's dialogue like fireside people.

## 合宿中に行われる対話を通したワークの一例を紹介

### ただ聞き、ただ語る

相手の言葉をただ受け止め、言葉を場に出すようにただ語る。キャッチボールのようにやりとりするのではなく、沈黙も大切にしながら、自分の内側から湧き出る言葉を表現する。わかり合うのではなく、自分を相手と認め合う時間です。



Voice

ただ聞くだけ、ただ語るだけ、というのは難しく感じました。でも慣れてくると、自分を受け止めてもらえる安心感があって心地よい時間でした。



### エンパシーサークル

3~4人のグループで『話し手』を決めます。『話し手』はテーマに合わせて自分のエピソードや考えを話し、それ以外の人が「話し手の感情やその奥にある大切にしたいこと(ニーズ)に焦点を当てながら聴く『聴き手』となるトーキングサークルです。『話し手』と『聴き手』は、決められた時間の中で随時交代していきます。



Voice

仲間が私のことを考えて贈ってくれる言葉は、とても嬉しかったです。自分の核心に迫るような感覚がするワークでした。



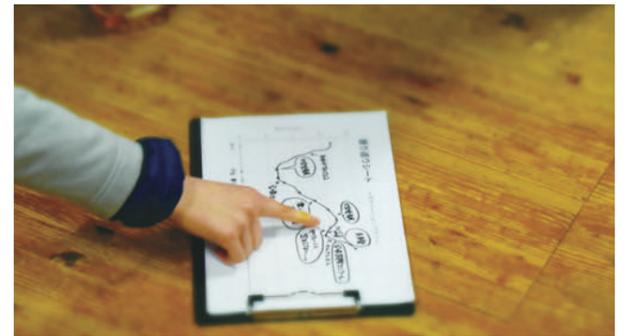
### 人生グラフ

自分の人生を振り返り、グラフにして表現するワーク。横軸に時間、縦軸に満足度を取り、曲線で自分の人生を表します。今の自分がどのように形成されてきたのか、将来にむけて自分が何を成し遂げたいのか、どんな人間になりたいのかを把握することができます。



Voice

自分はどんな時に苦しさや楽しさを感じるのか、共通点が見えてきました。辛かった時の自分を認めることができたのが個人的には大きな経験です。



### インタビュートーク

いくつかの用意された問いをもとに、2人1組になってお互いの話を聴きあうワーク。人生のこと、価値観のことを深めていく時間です。対話を通して未知の自分を知る。「自分のことを一番よく知っているのは自分」本当にそうだろうか?他者と対話してみよう。きっと見えてくるものがあるはず。



Voice

人生グラフとはまた違って、自分の人生をひとつの物語として捉えるような体験でした。インタビュー相手とも深く繋がれた気がしています。





# 人を巡り 想いに触れる ツアー #2

自然に寄り添いながら暮らす人々と出会い  
地域に根ざして生きることを  
選んだひとたちの人生に触れ、  
これからの生き方を考える。



実際に大人たちの働く現場にお邪魔します。時には作業をお手伝いしたり、新鮮な食材をいただいたりしながら、地域に根ざして生きるリアルを体感します。



実際に現場を見て、その暮らしの一部を体験して、  
自分が暮らしたい場所や生き方のイメージがより鮮明になりました。  
”あんな場所で働きたい！”が自分の原動力になっています。



働く大人のお話をじっくり聞きます。いま、何をやっているのか、だけでなくそこに至るまでの人生や失敗談など赤裸々にお話していただけます。自分の人生を生きる大人たちの熱量を全身で受け止めていきます。



自分で自分の人生を歩んでいる大人たちは、とても輝いて見えました。  
そんな方々の話を聞いていると、自分も心のままに生きる勇気をもらえました。

# 自然体験 #3

地域の暮らしはそこにある自然と密接にかかわりあっている。  
自然の中に身を置き、身体を動かすことで、  
その地域のエネルギーを受け取ることができる。



# 焚人と地域 #4 パートナー

たきびと  
焚人とは未来塾の空間と一緒に醸し出してくれる仲間として、  
焚き火を囲うように対話ができるスタッフの在り方を示す呼び名。  
それぞれのもやもや、問い、言葉を焚き木のようにくべ、  
心や場をあたためながら、未来塾の空気感を醸し出す。



学生  
焚人  
河合千尋（きぎ）  
過去未来塾に8回参加  
（屋久島、耶馬溪、泰阜村）



学生  
焚人  
肥田祐輔（れふと）  
過去未来塾に3回参加  
（屋久島）

影響し合える関係性の中にいることが、私にとって生きていく実感に繋がっています。

私が初めて未来塾に参加したのは、大学2年生のときのこと。ゆるーくてあたたかい未来塾の空間を好きになった私は、その空気にもう一度触れるべく、次の回に焚人として参加することにしました。

未来塾では、本番の4か月ほど前から「焚人対話」という焚人同士の対話時間を重ねていきます。どんな自分でも存在していいという安心感を継続的に得られること、そして未来塾メンバーと一緒に何かに取り組める楽しさに見事にはまってしまった私は、気づけば半年に一度、焚人として未来塾に参加するように。

未来塾当日は、純粋に一参加者として自分や仲間と向き合う場を愉しんでいます。もし私に焚人としての役割があるとしたら、「なんでもいい」の担保なのかな。私は私、あなたはあなた。そうでもいいし、そうじゃなくてもいい。そんなことを表現する存在であれたらなと思っています。そして何より、誰かの変容に立ち逢えることが大きな喜びで。影響し合う関係性の中にいることが、私にとって生きていく実感に繋がっています。

もうひとつ欠かせないのが、開催地との繋がりで。未来塾に参加するだけでなく、ときには数週間滞在して、未来塾中に話を聞きに行った大人のもとで働いたりもしています。未来塾で得たこの関係性は、今後も続くであろう大切な財産です。関わってくださるみなさん、いつもありがとうございます。これからも、未来塾を起点にあたたかい輪が広がっていきますように。

そこから未来が始まる  
仲間と自分と出会える塾

焚人として、ここに僕の言葉を載せていただけることに感謝します。僕が伝えたいことはひとつ。ぜひ、実際に行って体験してみてください。そのときにあなたが感じるものが、そのときのあなたに必要なことだと思います。毎日、陽が昇っては沈み、毎年、四季が巡ります。どんなときでも寄り添ってくれるそのときどきの風景は、自分は自分でいいのだと思わせてくれます。きっと『環境系学生未来塾』も同じだと思います。刺さる言葉や自分の価値観をぶらされるような出逢い、自分のやりたかったことを思い出し、小さな頃の自分と繋がり、少しだけ優しくなれるような経験。そこには、そのときの自分にしか味わえない未来塾があるし、後から振り返ると、そこが自分なりの人生のスタートになっているかもしれません。未来塾には正解はありません。だからこそ、参加した皆さんに寄り添える未来塾があるのだと思います。僕は、そんな未来塾にたまに帰りたくなります。

僕には、沢山の失敗があります。指揮者をしたくて女の子を泣かせたこと。高校時代に赤点を取ったこと。副キャプテンになれなかったこと。医学部受験に失敗したこと。起業の為のビジネススクールに申し込んで、落ちたこと。気象予報士試験に落ちたこと。など、正直、まだあります。しかし、これらの経験に向き合い、そんな自分を受け入れ、そして、認め、うまくいかなかったことの裏側にあった自分の願いに気づけるようになり、“自分に自分のやりたい(かった)ことをさせてあげる”という姿勢で生きられるようになったのは、未来塾のおかげだと思っています。本当に感謝しています。

## 具体的に何をやるの？どんな人が焚人になるの？

焚人には2つのパターンがあります。ひとつは過去の未来塾参加者からなる、参加者のもやもやに寄り添う学生焚人。もうひとつは未来塾の理念に共感し、地域の価値観と共に一歩先をいく大人と地域と学生をつなぐ大人焚人です。

### 学生焚人（過去の未来塾参加者）

未来塾の参加者としてだけでなく、運営側として一緒に場づくりをしていくことで、今までになかった視点や考え方を知ることができます。具体的には未来塾当日に向けての対話の中で未来塾が大切にしているエッセンスを学びながら、未来塾の新しい仲間を増やす広報活動を共におこないます。そして、参加者以上に未来塾を楽しむのが一番の役割です。

### 大人の焚人（地域パートナー）

大人と地域と学生をつなぐ役割を通して、現役学生たちの価値観や視点を知ることができます。具体的には開催地域の大人や自然がつながる化学反応を楽しみながら、地域と自分のつながりを再発見することで地域の豊かさを感じ、自分自身の豊かさを表現します。



大人  
焚人  
松木太（ふとし）  
耶馬溪町（大分県）地域パートナー  
株式会社森と人と

開催しながらも、自分自身がより深く  
地元の人のことを知れて嬉しくなります。

大分県中津市耶馬溪町の地域パートナーとして未来塾を共に企画している太です。

大学時代に第1回環境系学生未来塾に参加し、人生を見つめ直す大きなターニングポイントとなった未来塾。最初の1回だけでは足りず、その後も学生スタッフとして複数回未来塾に携わってきました。屋久島にいる多様な大人たちの哲学に触れ、同じように人生に悩み励まし合い、その後も応援しあう仲間を見つげられた未来塾。そんな未来塾を今後は地元でやりたいと思い、耶馬溪でも開催するようになりました。

耶馬溪のメインフィールドは、未来塾の卒業生たちが暮らしている「暮らしをつくるシェアハウス hitotose」。屋久島とは人も環境も全く異なる地域ですが、地域の人たちと話をしていると、この土地だからこそそのさまざまな想いや哲学があったりします。開催しながらも、自分自身がより深く地元の人を知れて嬉しくなります。

また、耶馬溪では数回未来塾を開催してきましたが、参加した大学生たちがその後何度も耶馬溪に帰ってきてくれます。年に数回くる人、長期休みを利用して数週間～数ヶ月滞在する人、遠方から毎年きてくれる人など、未来塾で人生を語り合う時間を過ごしたからこそその関係性が広がっていることを実感します。特に耶馬溪には大学が近くにないので、高校生以上の若者はなかなかいないのですが、そうやって帰ってきてくれる若者たちがいることは、地域にとっても活力をもたらしてくれています。



大人  
焚人  
緒方公美（くみ）  
泰阜村（長野県）地域パートナー  
NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

この村の自然、文化、教育力と  
未来塾が混ざると面白そう、やってみたい

私も未来塾の元参加者で、大学4年生の時に参加しました。現在は地域パートナーとして長野県泰阜村（やすおかわら）での開催に参画しています。

泰阜村での開催拠点となっているのはNPO法人グリーンウッド自然体験教育センター、私の職場です。グリーンウッドは「暮らしから学ぶ」をコンセプトに一年間の山村留学「暮らしの学校いだらぼっち」を根幹事業として地域に根差し活動しています。泰阜村は信号もコンビニもない「何もなし」へき地山村。しかし何もなしだからこそ、村民が知恵を出し合い協力しながら暮らしをつくってきた文化があります。

未来塾をこの村で開催したいと思ったのは暮らしして4年目の頃でした。学生時代の未来塾の体験が私の中に残っていて「この村の自然、文化、教育力と未来塾が混ざると面白そう、やってみたい」という気持ちが湧いたことと、未来塾が他地域への展開を進めているタイミングが重なり、コーディネーターに開催をお願いしました。

開催して良かったことは新しい層の学生との繋がりが生まれたこと、そして対話し体験を丁寧に言語化してもらったことで私たちが村にある豊かさを見つめ直すことができたことです。何より嬉しかったことは、未来塾中に村の農家さんの野菜を食べていたことをきっかけに参加者が未来塾後、関東の農家さんを訪れるツアーを企画していたことです。体験が参加者それぞれの形で次の行動に繋がっていく、地域の豊かさを感じました。ああ、汗かいて良かったなあと思っています。



あなたにとって  
未来塾とは？



## 屋久島はもうひとつの帰る場所だと感じました。

### ずっともやもやしていた

未来塾参加期間中はずっともやもやしていました。未来塾に誘ってくれた親友との距離感や、参加者のみんなとの関わり方、1人でいたい自分と輪に入っていきたい自分などについてです。また、島時間についてや、自分の過去について、もっと話を聞きたかったり、もっと話を聞いて欲しかったり、ずっと自分と対話をしていました。

“もやもや”はいい言葉だと思いました。心にある何かをあまり解釈することなく言葉にできるからです。自分でも何か分かっていない感情を表現できます。これからも使っていこうと思いました。

### 人とのつながりを大切にしていなかった

私にとって人とのつながりはすぐに切れるものでした。場が円滑に回って、自分が孤立しなければそれでいいと思っていました。面倒になったら関係を切ってしまう方がいいし、場を離れたら関係が切れるのが普通だと思っていました。

私がこれまで大切にしていたのは人ではなく、本とのつながりだったと気づきました。私は本が好きです。本は、自分で読むかを決められる上に、人生を変えるきっかけをくれるからです。私の人生は何度も本に変えられています。

しかし、未来塾では人との出会いや、つながりで人生が変わった方にたくさん出会いました。また、私自身も今回出会ったみんなとこれからもつながっていたいと思いました。人との出会いやつながりが大切であると学べたこと、つながる方法を教えてもらったこと、つながっていたいと思わせてもらったこと、とても感謝しています。

未来塾が終わってからひと月の間、屋久島に住んでみました。屋久島での生活では、たくさんの新しい出会いがありました。1人の時間を作りたいくらい人と関わることができました。これからどうやって人と関わっていくのか、私の心地の良い、人との関わり方を見つけていきたいです。

### 自分の生き方を肯定できた

私はフリーターとニートを繰り返しながら、高校卒業から生きてきました。職場に馴染んでは苦しくなって仕事を辞め、貯金したお金でしばらく働かずに生活することを繰り返しています。私は、ずっと嫌なことから楽な方に逃げているんだと思っていました。これから先も逃げ続けて、苦しいことに

Himawari Wakou

・第12回未来塾に参加  
(2022年夏 屋久島)



怯えて生きていくんだろうなと思っていました。もういわゆる普通の人生には戻れそうになくて、そのことにコンプレックスを持っていました。そんな自分が嫌でした。

しかし、今回自分の生活を人に話した時、いいなと言われました。自分にとって心地よいライフワークバランスを探して、実験をしている大人にも出会いました。つらくない方へと生きてきたけれど、それでよかったのかもしれないと思えました。きっと何か選択が違っていたら、屋久島や未来塾には辿り着かなかっただろうなと思いました。この生活がずっと続けていけると思っていなかったけれど、続けていけるように自分で人生をつくっていけばいいのだと考えることができました。わざわざルールに戻らなくても生きていけるのかもしれません。

自分の人生も、居心地の良い場所も、自分のニーズを叶える方法も、選ぶのでもなく探すのでもなく、つくるという選択肢もあるんだと気づかせてもらいました。

### もうひとつの帰る場所

屋久島でひと月生活して、ほんとうに人に生かされているんだと実感しました。屋久島はもうひとつの帰る場所だと感じました。きっとまた帰りたくなるだろうと思います。

振り返りが書ききれなかったり、対話が振り返りきれなかったり、日常の中でまだ咀嚼する機会が必要だと思っています。そのぐらい濃い5日間でした。

未来塾に参加できたこと、あのメンバーで5日間過ごせたこと、本当に幸せだったと思います。ありがとうございました。



## 自分が成長するとても大きなきっかけになった未来塾。

### 最初の2日間はめっちゃしんどかった

恥ずかしい話、自分は未来塾に参加する前、どうにかなるだる～という感じで、お気楽さんでいました。始まる前にもやもやすることありますかって聞かれたけど、正直あんまりなかったし。これまで、たくさんの経験をしてきたという自負もあったし、自分に自信もあったんだと思う。

今までの自分をぶっ壊すぐらいの衝撃を最初の2日で受けた気がします。自分の無知さ、知っているけど何も考えていないこと、行動力のなさ etc、自分の力不足を痛感しました。そのせいかどうかはわからないけど、いつもならどんなところでもうまく馴染めてきたはずなのにそれもできないし。あ～ほんまにしんどかった。家に帰りたくなってました(笑)

### 一番辛かったのは、自分の価値観の狭さに気づいたこと。

自分にとっての「豊かさ」がわからなくなってしまっ。未来塾に参加する前は、お金がたくさんあるからと言って、みんな幸せに暮らしているかと言ったらそうじゃない。そんなことはわかっているけど、「豊か」=「お金の量」って無意識のうちに決め付けている自分がいた。自分がいるんな経験ができたのは金銭的に比較的余裕があって、出資してもらえたからだとも思うわけで。人によって自分の大切なものを測るものさしは違う。にもかかわらず自分のものさしのレパートリーがあまりにも少なすぎるから、いろんなことの判断もすごく狭い世界でしかできない。これはすごくまずいなと思って落ち込みました。

### 3日目の夜になってから本当に楽しいと感じられるように

というのは3日目を過ごす中で考え方を変えようと思ったから。周りのみんなは本当にすごい人ばかりで、いろんな経験をされていて、ずっと先を進んでいるかっこいい兄ちゃん、姉ちゃんみたいな感じ。皆さんがそれぞれにすごくしっかりした「ものさし」を持っていて、それに対してすごく憧れがあったし、自分もそんな風になりたいと思う。でも自分はまだ大学入ったばかりのひよっこ、農学部には入ったけど専門分野は決まってない。やりたいことははっきりあるわ

Koutarou Yoneda

・第7回未来塾に参加  
(2020年夏 耶馬溪)



けじゃない。だからどうやってもすぐには追いつけない。だから、今は焦らずにいるんな価値観を吸収して、学ぶことに重きを置くことにしよう。そんなふうに決めました。

そしてこの未来塾を機に、とりあえず1年間、できるだけたくさんの人と出会い、できるだけたくさんのもさしを集める時間にする事にしました。だから兄さん姉さん方、この人面白いよ！とか、この人の考え方は素敵だ！みたいな方がいればぜひ教えていただきたいです！ぜひよろしくお願ひします！

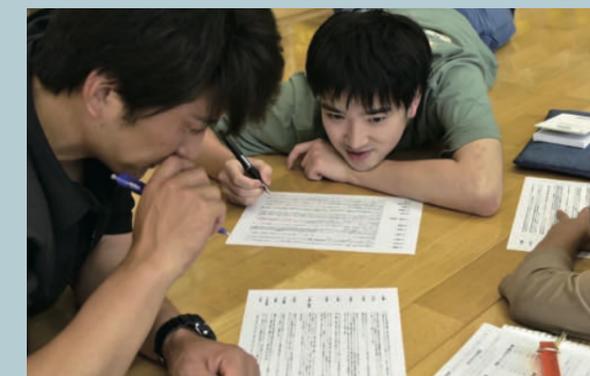
### 希望の光かのように現れた未来塾

台風が迫ってくる中、逃げるように九州から脱出したからなんか未来塾終了！って感じがあまりない中で、みんなとお別れになってしまったので少し寂しい気持ちを抱えたまま、帰ってきました。

でも大学生活のスタートが誰とも会うことなく、毎日パソコンに向かうだけの毎日という中で、夏休みに突入。ポーツと過ごすだけになりかけていた休みに希望の光かのように現れた未来塾って感じがして本当に参加できてよかったと心から思ってます！もしかしら自分は今回のために九州の大学に来たのかもしれないと思うぐらいです(笑)

自分が成長するとても大きなきっかけになった未来塾。今回のメンバーでまたいつか報告会みたいものができればとっても嬉しいです。(企画、お願いします！)

それでは、ものさし集めの旅に行ってください！皆さんお元気で！また会いに行きます！



受け止めてもらえたことがうれしかったし、言っても大丈夫な関係がありがたかった。

Sae Katagiri

・第15回未来塾に参加  
(2022年夏 泰阜村)



### 同年代と過ごすこと

グリーンウッドでの体験は、私にとっては全くの未知の体験ではなく、キャンプやイベントに行ったときに経験のあることだったけれど、小学生の時以来だったことや、同年代の中で過ごしたことで新鮮に映っていました。

東京とはまるで違う空気や星空に、採れたての美味しいお野菜と熱々の五右衛門風呂と、温かく迎えてくれた皆様のおかげで、とても自然体で、心地よく過ごさせてもらいました。

とてもとても楽しくて、思い出して寂しくなってしまうほどですが、それぞれ頑張っているのだろうなと思って奮い立たせております。

### やってみたいこと

まず帰ってきて考えたことは、街をつくりたいということ。教育のプログラムをつくりたいというようなことをちらっと言ったけど、自然と都市が共存したこの町が好きで、素敵なこの町をもっと活用できたらいいなと思った。私、この町意外と好きなんだなとも。

それだけではなく自分がやりたいことがありすぎて、防災とか教育とか人とつながることとか、色々欲張ってできるのは街づくりだと考えたことも理由の一つ。

近くの大きな公園で自然を遊んだり、小学校の授業の一環で自然を自分で学んだりした自分の原体験があって、すべての子供たちがこんな風にして家庭環境に依らずに参加する権利が与えられたらいいな、そういうものが造りたいと思った。林間学校のような、子供たちが絶対に行くだろう学校の一部となる教育施設をつくって運営することも近いと思う。やってみたい。

私は、やりたいことを両親が後押しして色々なことに参加させてくれて、偏っているかもしれないけど世界は広いということを知っている。温かい人で溢れていることを知っている。それが体感できる場がもっと身近にできたらいいな。

自分の夢や、やってみたいことを人にあまり言ったことがなかったので、初めて言えたこと、意外と怖くなくて、受け止めてもらえたことがうれしかったし、言っても大丈夫な関係がありがたかった。

みんなとまたキャンプとか焚火とかしたいし、お喋りしながらスノーシューとかできたら楽しそうだし、ここだけの関係にしたいと思っています。

まだ考えていることも言いたいことも色々あって、寝前に考えすぎて煩い頭で、未来塾で、ただ考えていることを口に出してその場に置く、自分と向き合うような、自分の時間をとってもらえたことが、気持ちを切り替えたり、考えを整理したり、頭をすっきりさせられて、それを取り入れられたらいいな。人に話すだけではなく、紙に書き出すのでできるかな。

### 自分の好きに気づけた

あと人と生活する方が整った毎日を送れると思う。スケジュール的ではなく、自分の心持として、ハリが出る気がする。友達どうしてシェアハウスとか住んでみたい。人と一緒にいるということが意外と好きなんだなって気づけた。

でもずっと、星が見えるところに住みたいとは思っていて、泰阜村のような自然に抱かれた、ゆったりとした時間の中で過ごしていたい。

未来塾での4日間は、最初は緊張していたけどそれもすぐに解けて、すごく心地良く気持ちよく過ごさせてもらって、こういう暮らしが合っているのかなって感じた。けどそれも、皆様と一緒にだったから、そのおかげだなとも思っていて、いくら伝えても足りないくらいの感謝でいっぱいです。

改めてこの日々は、色々なことを吸収する、情報収集するだけでなく、アウトプットする、無理そうならそういう場に慣れることを目標に、全部はできないので自分のやりたいことを見極めて、次に動けるときの準備をしていきたいと思っています。皆様とともに時間を過ごせて、とても幸せで心地よい期間でした。ありがとうございました！



大きさに聞こえるかもだけど未来塾から人生変わりました。

Tomoko Watanabe

・第1回 (2017年夏 屋久島)  
・第2回 (2018年春 屋久島)  
・第3回 (2018年夏 屋久島)  
未来塾に参加



第1回の未来塾からちょうど半年。思い返すとこの半年の間に学生生活がガラリと変わりました。大きさに聞こえるかもだけど未来塾から人生変わりました。

### 運営として参加

「第2回だれか学生スタッフやらない？」そう声かけがあった時、関わりたい気はするけどあの場をつくる側にいる自分が全く想像できませんでした。

が、友人からも誘ってもらい広報ぐらいなら…やりたいかも！という感じで関わることにしたのが第2回のはじまりでした。でも知らず知らずに巻き込まれいつの間にか運営として参加することになっていました。場づくりなんてしたことがなかったから全くわからないし不安だらけでした。だからファシリテーションの勉強会に行ってみたり本を読んだりしました。チラシやインスタなども作成しました。はじまる前から本当にたくさんの学びがありました。感謝です！

### そして本番

この4日間はやりがいがあったしほんとに楽しかったです！たくさんの出会いがありました。

ほとんど身内だったけど知らなかった一面が見れたり想いや考えを知ることができたり、みんなを深く知ることができてよかったです。みんなの初めてにたくさん立ち会えてうれしかった！！みんなの姿や話からはいろんなヒントをもらった気がします。

### 新しい考えとの出会い

地域で働く大人の「反対する人はたいがい経験したことのないう人」という言葉はこれから自分を支えてくれる気がします。人の評価や“しなければならぬ”にとらわれすぎず、自分の気持ちに正直に、やりたいことをやりたいです。

### 自分の想いとの出会い

エンパシーサークルで受け取った「平和」「平等であること」「正直であること」これは自分の軸になりそうです。わたしの夢は自然と共生できる形で農を営むこと。でもこれはあくまで一つのツールだと気づきました。わたしはみんなの笑顔がうれしいです。“みんな”の幸せとは何か、問い続けたいです。

### そしてアクション宣言の「歩」

少し止まると書いて歩く。

でもほんとにこれは用意していた訳ではなくあの時ポツと思いついたものです。もやもやするのは真剣だからこそ。立ち止まってしまう苦しい時もあるだろうけど周りを頼ったりしながら考え続けて、自分の選択や決断をしていきたいです。Going my way です！

この4日間は本当にあっという間だったけれどとても濃いものでした。また一歩成長できたように思います。つくる側の楽しさも知ることができました。みんなとも仲良くなれて、本当にうれしかったです！ありがとう！

これからも仲良くしてください！^^また集まりましょう！



＼もっと聞きたい！／

## REAL FEEDBACK

こちらから、過去参加者の感想を読むことができます



note.com/miraiyuku/

# 地域で働く大人にインタビュー

持続可能なツアーカンパニー  
モスガイドクラブ/  
モスオーシャンハウス

今村裕樹  
yuki imamura



屋久島で宿と自然体験を届けている Moss Ocean House の今村さん。卒業生が何度も訪れたり、一緒に仕事をしたりと、その後も深く関わり続けていただいています。

**A1** 自分は世間的に安定している仕事は選はず、やりたいことをやるという人生を送ってきています。なので、やりたいことをしたいけど、世間や家族の目が気になってもやもやしている子たちに力を与えられていると思うと嬉しいです。自分もそうやって先人からいると力をもらってやってきたので、それを次につないでいけるのが感慨深いです。恩返しのような感覚ですね。自分がお世話になった人に直接返せないから、次につないでいく…そんな意識でお話をしています。

また、その後も定期的に自分を訪ねてくれる学生もいます。みんなリスクを取って自分の大事なものを大切にしながら生きていくことを選んでくれたのはうれしいし、力になれることは力になりたいと思います。未来塾卒業生たちと一緒に仕事できたり、戻ってきて自分の考えを話してくれたり、世代を超えて対等に話せる仲間が増えることがうれしいです。

**A2** 原点に立ち返る場所…原点に立ち返らせてくれる場所です。学生時代に思っていたこと、社会に出る前に思っていたことは自分の原点です。学生時代の時の話をすることで、こんなこと感じてたな、こんな風乗り越えてきたなと振り返る機会になるのがありがたいです。

世間に評価されるようになって、自分がなぜこの事業をやるのかというところに立ち返るのは大事です。大人になると「いまどうですか」「これからの未来どうするんですか」と聞かれることが多いけれど、いままでやってきたことが今や未来を支えています。

何者でもなかった自分が、それでも大事にしていたことに触れられるのが未来塾の持つ価値だと思います。



モスオーシャンハウス web サイト  
moss6.com



## Q1 学生と関わることで印象に残っていることはありますか？

屋久島の香りを届ける  
やわら香

渡辺優子  
yuko watanabe



環境系学生未来塾 in 屋久島で計4回お話をさせていただいた優子さん。屋久島の木材や果実の皮を使ったアロマ製品をつくる彼女を通して見える未来塾に迫ります。

**A1** まず、未来塾に参加する学生の真剣度がすごい。みんなが真剣な目線で話を聴いてくれて、感想文もびっしりと書いて渡してくれて、熱意と真剣なまなざしが印象に残っています。

屋久島には大学がないので、20代前後の若者の感覚に触れられるのはすごくうれしいです。新鮮な風が吹くし、自分の事業や商品をこの年代の子が手に取るとどういう風を感じるのか目の前で反応を見られる機会は貴重だなと思っています。また、自分がいなくなった後もこの事業を続けていくことを考えた時に、新しい時代をつくる若者の考えに触れる機会は大切にしたいと思っています。

そして、学生自身も、知らない生き方を知れる機会になっていると思っていて、そういう世代を超えた循環があることが未来塾のいいところだなあと感じています。

**A2** 未来塾は「自己肯定への道しるべ」になっています。最初に関わったときは自分のことを話すことが恥ずかしかったけれど、回を重ねるごとにもっと赤裸々に、もっとあけっぴろげに話すようになって（笑）その中で、「わたし結構おもしろい人生歩んでんじゃん!」と思えるようになりました。自己肯定感がすごく高い状態になっていく要因の一つに、未来塾で話したという経験があります。今では自分の人生を100%肯定できるようになりました。

また、大人になってから、自分の話をする機会がないので、それをアウトプットする機会は大切だなと思っています。就活をして悶々としていた自分がどうやって乗り越えたかを掘り返すことで、社会人になって忘れていた気持ちを思い出さず、それが今、自分がやっている事業はどうか、今後どうしたいかなと考えるときの重要な要素になっています。繰り返し、未来塾に関わることで、考えに深みが増していったような感覚になっています。



やわら香 web サイト  
yawaraca.jp



## Q2 あなたにとって未来塾はどんな存在ですか？

地魚くんせい製造直売所  
くんせい屋 けい水産

田中啓介  
keisuke tanaka



屋久島で魚の燻製屋さんを営んでいる啓介さん。第1回から関わる中で、学生をアルバイトスタッフとして受け入れたり、関わりを継続していただいています。

**A1** 自分が話した後に「俺燻製屋になる!」と言った子がいたのが印象的でした。自分も事業を立ち上げて、試行錯誤しながらやってきて…その話をしたことで若い学生が、「よし!やるぞ!」と自分の目標を持ってくれたのがうれしかったです。

未来塾には自分の将来のことを真剣に考えて、行動している、前向きな人たちが来るので、十分素晴らしい人たちだなあと感じています。最初はモヤモヤ学生ってどんな感じなんだろう思っていたのですが、話してみると単なる悩み相談というわけでもなく…将来に不安を感じるのには誰にでもあることで、そういうことを未来塾で話すことによって、夢や目標を持てるきっかけになっている人たちもいるように思います。

**A2** 最初は参加者の未来のための未来塾だと思っていたけど、いまは地域のため、みんなの未来のための未来塾だと思っています。

けい水産として未来塾と関わって、価値を感じているのはそのあとのつながりが続いていることです。中には屋久島に住み始めたり、また来てくれたり…何度もあって話すうちに、人間関係ができていのように思います。屋久島の場合はとくに20代の子たちがいないので、そういう世代の子たちが何度も来てくれるのはうれしいし、いろんな世代の人と関われるほうが豊かな感じがします。

最初の頃、未来塾は“参加学生自身の未来のために開催されている塾”と思っていました。けれど、また来てくれる人も増えて、人としての関係性ができて…住み始める人が出てきているのを見て、「地域の未来をつくっていく未来塾なんだなあ」と思うようになりました。

地域の未来は自分の未来です。そういう意味で、参加学生の未来、地域の未来、自分自身の未来のための未来塾だと思っています。



けい水産 web サイト  
keisuisan.com



屋久島の「生はちみつ」  
久保養蜂園

久保太・律  
ritsu&hutoshi kubo



環境系学生未来塾 in 屋久島でお話をした後も学生をご自宅に招いたり個人的なつながりを大切にしている久保夫妻。屋久島で養蜂家として創業するタイミングでお話をさせていただいて以降、3回にわたり関わっていただきました。

**A1** 律：人と人との交流、普段触れ合えない学生さんとの交流がいい刺激になりました。

未来塾のテーマに自分の内側と向き合う、というものがあることもあって、その学生の内側の部分と、人々として出会うことができた喜びがあります。自分の人生に向き合って、真剣に悩んでいる子たちと触れ合うと、悩める時間があることが貴重だな、と感じます。過去の自分を思い出したりするのも面白い体験です。

いまの20代の人たちが、どんなことを考えているのかわかったり、内側の葛藤などを聞くことができ、ハートでつながりあうことができる機会だなと思っています。

太：はちみつをつくって販売するメーカーとしての立場では、屋久島で養蜂をやっていることを知ってもらえることが大切です。広告宣伝的な意味合いもあって参加させていただいていました。

もちろん、その意味でもとても大切な機会なのですが、それ以上に個人として自分のことを知っていただいて、こういう生き方もあるんだよと伝えて、興味を持ってもらえることがうれしかったかな。自分が自信をもってつくったはちみつをテイस्टングして、喜ぶ顔を見ることがやりがいにつながっています。

**A2** 太：養蜂の現場を学生さんに知っていただくこと自体がめったにない機会です。この経験を通して、学生さんが帰った後に人に話をしたり、将来の選択肢に養蜂を選んだり…その場に留まらず、生きていくうえでの目標や指針のような存在になれたんじゃないかな、と思うと嬉しいです。

律：純粋さ、みんなが純粋な部分で、ハートでつながりあえる場所です。



久保養蜂園 web サイト  
yakushima-honey.com



# 実際に開催された未来塾の様子



世界自然遺産の島、屋久島。  
 数千年の時を刻む森、数万年の時を刻む大地、数億年の時を見せてくれる星空。人間の時間軸を超えたやくしまじかん。  
 命を育む豊かな水の巡りの循環のように、自然に寄り添いながら暮らす人々と出逢い、仲間と自分と向き合い、自分の未来を感じる5日間。人生を SHIFT する旅にでかけよう！

## テーマ 人生を SHIFT する旅

自分自身の問いと向き合う やくしまじかん

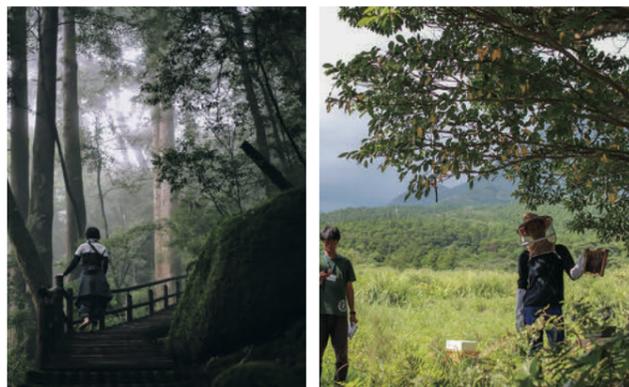
開催日程 9月2日(金)～9月6日(火) 4泊5日

開催場所 屋久島環境文化研修センター / 民宿 すぎのこ

参加人数 19名

参加費 45,000円

内訳：プログラム体験料、宿泊費、食費、保険料  
 (別途屋久島までの交通費がかかります)



## program

**Day1** PM  
 仲間との出会い  
 ・オープニング (開始 14:00)  
 ・アイスブレイク/お互いを知り合う時間  
 ・チェックイン  
 ①インタビュートーク  
 ・チェックイン  
 ②価値観対話  
 ・ウェルカムパーティー

**Day2** AM  
 大自然を感じる  
 世界に誇る屋久島の  
 ・オプション：朝活  
 ・屋久杉の森トレッキング&森ヨガ&山ごはん  
 @ヤクスギランド  
 PM  
 ・自分とつながるワーク  
 ①人生グラフ  
 ・自分とつながるワーク  
 ②ナイトハイク or エンカウンター

**Day3** AM  
 環境に携わる人の  
 想いに触れる  
 ・オプション：朝活  
 ・人を巡り想いに触れるツアー①、②  
 PM  
 ・屋久島を感じるランチ  
 ・人を巡り想いに触れるツアー③  
 ・焚火ダイアログ

**Day4** AM  
 自分たちの  
 想いに出会う  
 ・オプション：朝活  
 ・人生デザイン概論  
 ・未来塾焚人トーク  
 ・自分を深ぼるワーク  
 ①エンバシーサークル  
 PM  
 ・エンバシーウォーク  
 ・自分を深ぼるワーク  
 ②beの肩書き or 最高価値

**Day5** AM  
 旅立ちと  
 LIFESHIFT  
 ・スライド上映  
 ・チェックアウト  
 振り返り&メディスンカード & アクション宣言  
 ・クロージング (12:00 終了)



長野県の南に位置する泰阜村 (やすおかむら) 泰阜村は今でもコンビニや信号がない、ないものばかりの山村です。  
 しかしだからこそ、自然と、人と人が協力して暮らしをつくってきた文化があります。  
 対話をしながらそこにあるもので自分たちの暮らしをつくります。そして自分たちの暮らしは社会と繋がっている。  
 泰阜村で生きてきた人に出会い、自分大変なことも待っているかも？しかしどう楽しさに変えるかは自分次第。

## テーマ あるもので豊かに生きる

暮らしを自分たちでつくる、自分の人生は自分たちでつくる合宿

開催日程 9月12日(月)～9月15日(日) 3泊4日

開催場所 グリーンウッド自然体験教育センター

参加人数 16名

参加費 42,000円

内訳：プログラム体験料、宿泊費、食費、保険料  
 (別途飯田線金野駅までの交通費がかかります)



## program

**Day1** PM  
 仲間との出会い  
 ・オープニング (開始 15:00)  
 ・アイスブレイク/お互いを知り合う時間  
 ・自分とつながるワーク  
 ①人生グラフ  
 ・交流会

**Day2** AM  
 泰阜村の自然と  
 暮らしを感じる  
 ・くらしタイム (掃除、食事づくり etc.)  
 ・キャンプ場へ移動  
 ・自然体験 (川遊び、沢登り etc.)  
 PM  
 ・自分とつながるワーク  
 ②トーキングサークル  
 ・自分とつながるワーク  
 ③ナイトハイク or エンカウンター

**Day3** AM  
 環境に携わる人の  
 想いに触れる  
 ・くらしタイム (掃除、食事づくり etc.)  
 ・自然の中でまったり  
 ・キャンプ場出発  
 PM  
 ・NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター  
 見学  
 ・働く大人の想いに触れる  
 ・山村で暮らすこどもたちとの交流  
 ・人生デザイン概論  
 ・自分を深ぼるワーク  
 エンバシーサークル

**Day4** AM  
 出発  
 ・くらしタイム (掃除、食事づくり etc.)  
 ・スライド上映  
 ・チェックアウト  
 振り返り&メディスンカード & アクション宣言  
 ・クロージング (13:30 終了)

- 食事は自分たちで作ります。焚き火で煮炊きも。  
 - 2日目はキャンプ場でテント泊。

# 未来塾のあゆみ

未来塾発起人で未来塾コーディネーターのやっくんこと福元豪士<sup>たけし</sup>です。  
 未来塾のはじまりは就活集団説明会に行く自分の抱えたもやもや。  
 そんな時に参加したのが、NECの森の人づくり講座。そこで人生の転機を迎えました。本当に人生が動き出した瞬間。そこで見つけた、人生の生き方。仲間。今でも僕の中に残っています。  
 【この豊かな時間だった体験の恩返しをしたい】そう思って始めたのが環境系学生未来塾。  
 そして、この時の僕の感覚が未来塾のエッセンスの源泉になってます。



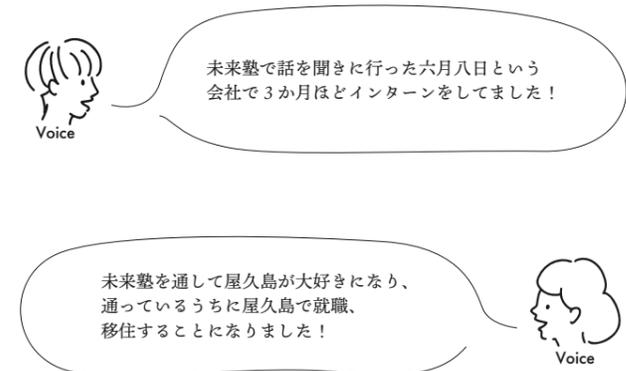
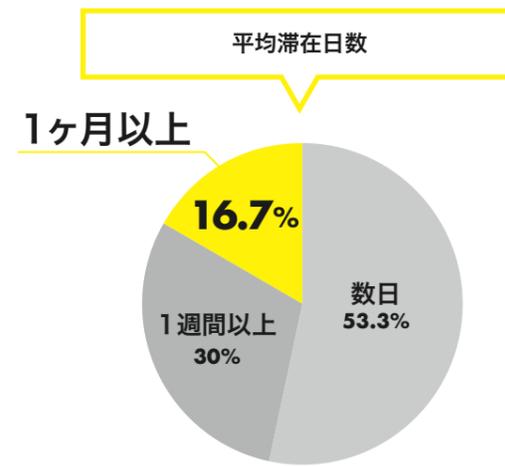
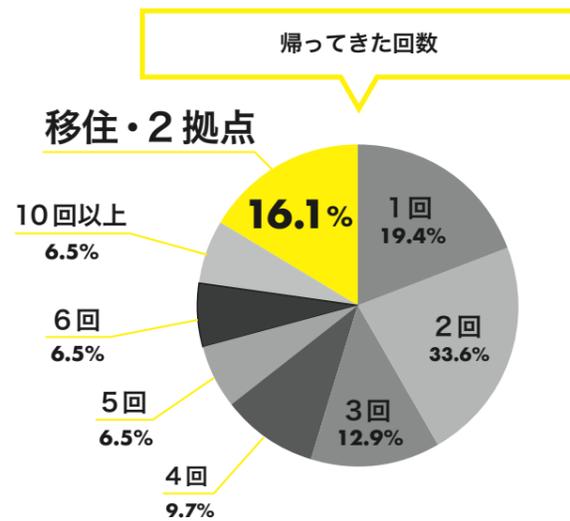
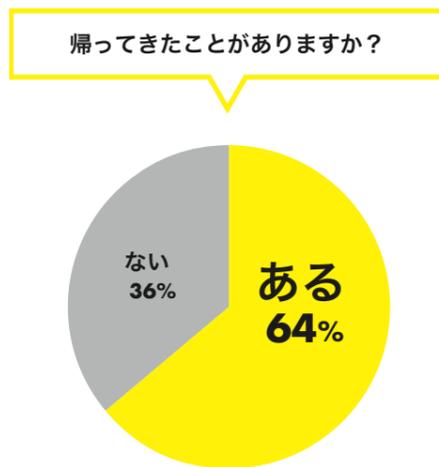
未来塾コーディネーターのあかりんこと石黒燈です。  
 未来塾に初めて参加したのは2018年3月…第2回の時でした。  
 それまで、もやもやして、自分の人生どうしていいかわからなかった私にとって、未来塾の体験は衝撃的でなおかつ自分の人生を取り戻させてくれたような感覚がありました。  
 こんな体験を必要としている人はもっといるはず。  
 日本の地域にはおもしろい生き方をしている大人たちがたくさんいます。そんな地域の魅力を、若い学生の人たちに届けるべく、全国展開プロジェクトをはじめました。

2017		2018		2019		2020		2021		2022					
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	
[夏]屋久島 合計19名	[春]屋久島 合計8名	[夏]屋久島 合計13名	[春]屋久島 合計16名	[夏]屋久島 合計14名	[春]屋久島 合計10名	[夏]耶馬溪 合計19名	[夏]屋久島 合計20名	[春]屋久島 合計16名	[春]耶馬溪 合計18名	[夏]耶馬溪 コロナ中止	[夏]屋久島 合計28名	[春]泰阜村 合計9名 ※オンライン	[春]屋久島 合計25名	[夏]屋久島 合計19名	[夏]泰阜村 合計16名

未来塾参加者（内訳）参加者168名、学生焚人41名、大人焚人41名 合計250名

参加者に聞きました

## 未来塾後に開催場所に帰ってきた？



## 未来塾開催までの流れ



焚人（スタッフ）育成  
 オンライン勉強会スタート  
 全6回（2～3週間に一度）  
 ※過去の勉強会の一例

第1回 キックオフ	第2回 対話	第3回 場づくりとコミュニティ	第4回 身体知と身体性	第5回 NVC※	第6回 全体ふりかえり
--------------	-----------	--------------------	----------------	-------------	----------------

※"Nonviolent Communication"のこと。行動や感情の背景にある願いや大事にしていることに焦点を当てるコミュニケーションです。

# 未来塾の意図・意味とは

大学生時代の経験は人生に大きな影響を与えます。学生というステージから社会に出て働くというステージへの準備期間だからこそ、自然の中で自然と自分につながりなおし、さまざまな人の想いや働く人の想いを対話を通して学びながら、自分自身との対話を通して価値観（在り方）を醸成します。また、3泊以上の濃厚な時間を過ごすことで、未来塾終了後も人生を応援し合あえる仲間とつながり、自分自身の未来をデザインし、アクションする一歩を踏み出す場を創造します。

## 未来塾のエッセンスとミッション



## アクション宣言

深く繋がった仲間と共に、未来への一歩を踏み出すアクションを宣言することで、未来塾の後も続く、仲間と自分との繋がりをつくります。

### mission

自身の未来をデザインできる行動力のある大学生を育成する。(キャリア教育)

## 合宿後も続いていく豊かな関係・立ち帰る場所づくり

### 焚人としての参加

未来塾には焚人と呼ばれるスタッフがいます。運営に関わりながら、もっと深く未来塾に関わっていくことで新たな視点を得ながら、自分の豊かさに立ち返ることができます。

### こころの故郷・立ち帰る0th placeを作る

日常のあれこれを完全に手放して、ずっと大切にしてきたことを思い出す、そんな自分のための0th place（聖地）のような場所になっています。

### 観光以上移住未満の関係人口づくり

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉。それぞれの地域の自然に還り、地域の人に定期的に会いたくなる関係、ふるさとのような関係をつくります。

### オンラインのつながり

各回ごとではグループでつながり、LINEのオープンチャットで過去の未来塾卒業生全員とつながることができます。半年に一回オンライン同窓会が開催され、そこからオフ会も生まれ、リアルなつながりも育まれています。

学生のためだけでなく、みんなのための未来塾

## 地域の未来をつくる

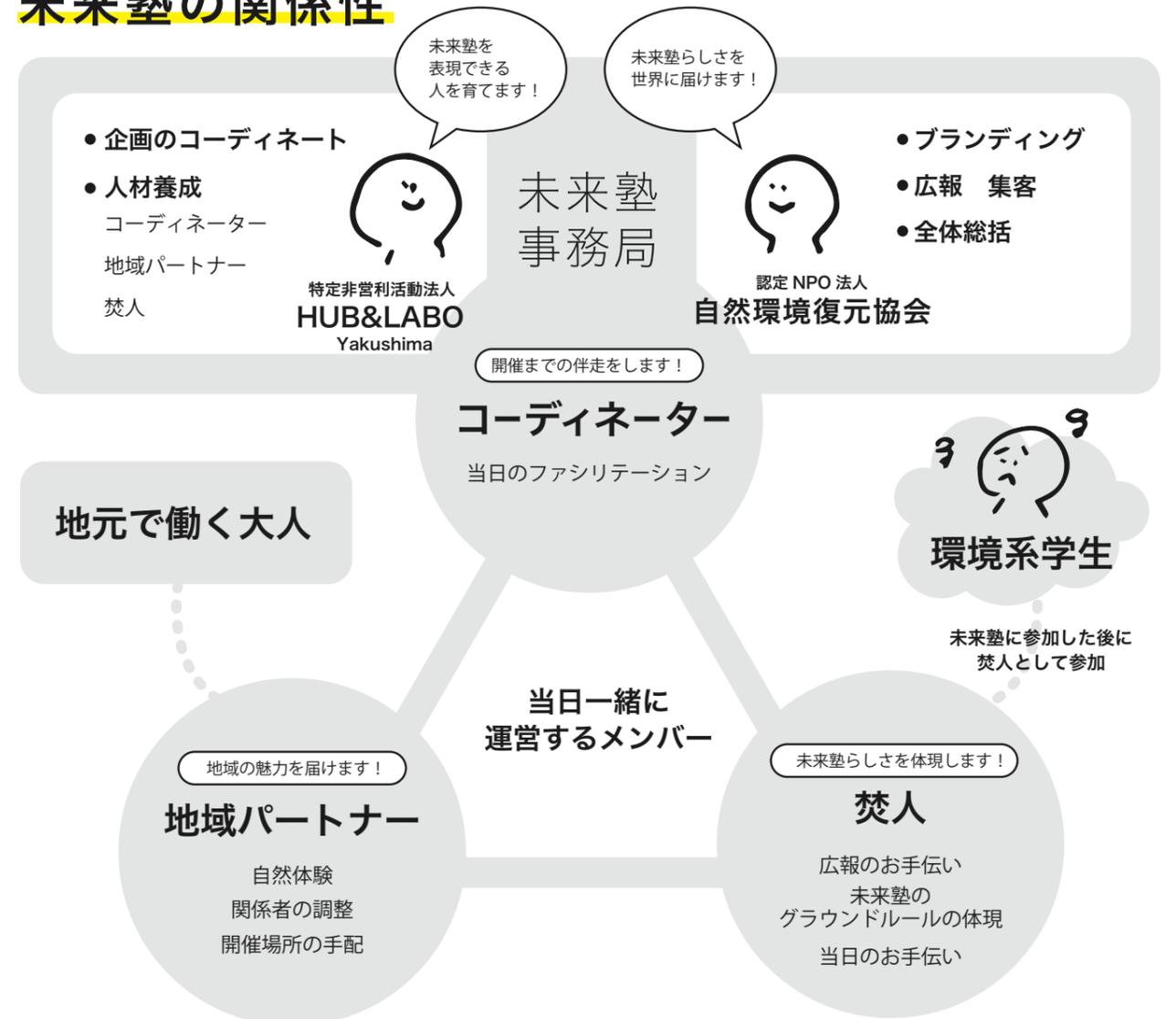
### 地域が得られるもの

- ✓ 関係人口の増加
- ✓ 新しい地域の魅力を発見
- ✓ 田舎で暮らしてみたい学生と人手が足りない、若い人材が欲しいという地域をつなぐ役割

### 地域の大人が得られるもの

- ✓ 若い感性に触れることができる
- ✓ 自身の活動を広めることができる
- ✓ 自分自身の経験をアウトプットする場ができる

## 未来塾の関係性



### コーディネーター対談

未来塾のはじまり、これからの未来塾についてふたりのコーディネーターが語っています。未来塾へかける熱い想いをぜひ覗いてみてください。

# 環境系学生 未来塾



website



instagram



facebook